フリースタイルスキー・モーグル
日本代表チーム SNOW JAPAN
松田 颯選手
（しまだ病院 Snow Team所属）
写真：黒田浩二氏撮影

Top Athlete Support team Heartful〈しまだ病院 Snow Team〉

2021-2022 Activity report

●TASH(Top Athlete Support team Heartful)とは？

はぁとふるグループの院外活動で、アスリートが最大のパフォーマンスを発揮できるよう、医師、理学療法士、トレーナー、看護師などの多職種が連携し、スポーツ医学の視点から体づくりをサポートしています。
TASHは複数のチームに分かれており、その一つしまだ病院 Snow Teamは、フリースタイルスキー日本代表チームを担当し、代表選手や育成選手たちをサポート。はぁとふるグループからは、日本代表チームのチームドクターを務める院長・勝田を筆頭に、理学療法士3人、トレーナー2人、セクレタリー1人の計6人が参加しています。
このほかにも、アーティスティックスイミング日本代表や日本フットボールリーグFC大阪などのアスリートのサポートも行っています。

2021-2022 FISワールドカップ〈モーグル〉全12戦終了

国別総合ポイントランキング
松田 颯選手　総合22位

しまだ病院 Snow Teamは次のオリンピックへの出場、ワールドカップや国内戦で良い成績が出るようチームでサポートしていきたいと思います。
今後とも応援よろしくお願いいたします。

シーズン全戦を終えて、4月1日、日本代表無事帰国！

国別総合ポイントランキング 日本代表チーム 優勝

SNOW JAPAN・城 勇太ヘッドコーチ（左奥）が、国別総合ポイントランキング1位に授与されるNATIONS CUPを携え、当院に表敬訪問に来てくださいました（左から2番目：松田颯（そう）選手〈しまだ病院 Snow Team所属〉、右手前：松田選手の「大阪の母」こと黒岡千泰（ちひろ）〈しまだ病院 Snow Teamセクレタリー〉、右奥：SNOW JAPANモーグル・チームドクター勝田紘史（ひろし）〈運動器ケア しまだ病院 院長〉

2021-2022 FISワールドカップ モーグル日本代表チーム

〈男子〉
堀島 行真　IKUMA HORISHIMA
杉本 幸祐　KOSUKE SUGIMOTO
原 大智　DAICHI HARA
松田 颯　SO MATSUDA

〈女子〉
川村 あんり　ANRI KAWAMURA
星野 純子　JUNKO HOSHINO
冨高 日向子　HINAKO TOMITAKA
住吉 輝紗良　KISARA SUMIYOSHI
柳本 理乃　RINO YANAGIMOTO
中尾 春香　HARUKA NAKAO

〈コーチングスタッフ〉
ヘッドコーチ｜**城 勇太**　YUTA JO
テクニカルコーチ｜**ヤンネ・ラハテラ**　JANNE LAHTELA
コーチ｜**島谷 博幸**　HIROYUKI SHIMATANI
テクニカルコーチ｜**鈴木 健太**　KENTA SUZUKI
テクニカルコーチ｜**遠藤 尚**　SHO ENDO
フィジカルコーチ兼トレーナー｜**伊藤 秀吉**　HIDEYOSHI ITO
ドクター｜**勝田 紘史**　HIROSHI KATSUDA
トレーナー｜**瀬戸口 淳**　JUN SETOGUCHI
トレーナー｜**徳富 みずき**　MIZUKI TOKUTOMI
セクレタリー｜**片岡 美穂**　MIHO KATAOKA

2021-2022 season しまだ病院 Snow Team 活動履歴

〈2021年〉
5月　北海道合宿
サンガリア指導
6月　リモート指導
宮城県合宿
堀島行真選手来院
サンガリア指導
7月　リモート指導
サンガリア指導
8月　しまだ病院合宿
堀島行真選手来院
9月　堀島行真選手来院
オリンピック派遣前手続き
宮城県合宿
10月　大阪府スキー連盟伝達講習会
W杯スイス遠征帯同
サンガリア指導
11月　バイオメカ学会　発表1演題
リモート診察
サンガリア指導
12月　サンガリア指導

〈2022年〉
1月　W杯ドイツ遠征帯同
W杯アメリカ遠征帯同
W杯イタリア遠征帯同
ジュニア大会＆講習会
2月　北京オリンピック
3月　W杯フランス遠征帯同
世界ジュニア選手権
イタリア遠征帯同

はぁとふるグループは、フリースタイルスキー・モーグル日本代表チームの体づくりをサポートしています。

運動器ケア しまだ病院 SHIMADA HOSPITAL　Eudynamics ヴィゴラス

世界で磨いた技と知識を活かして、皆さんの「動く！」をサポートします！

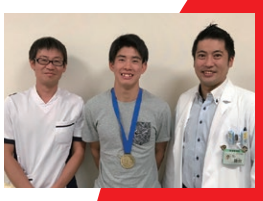
運動器ケア しまだ病院 院長
勝田 紘史
（モーグル日本代表チーム SNOW JAPAN チームドクター）

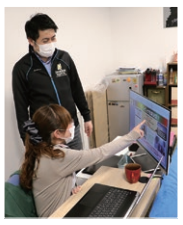
「動く」を支えるプロ集団に

実は、私もモーグルの選手でした。ですから日本代表、ましてやオリンピアンともなれば「憧れ中の憧れ」です。TOPアスリートの身体はまさに「精密機械」。精緻に仕上げるには、スタッフにも高い技術と知識、そして「絶対に勝つ」と願う選手と同じだけの情熱と覚悟が要求されます。TOPアスリートと私たちが限界ギリギリの経験の中で得た技と知識は、必ずみなさんの治療やトレーニングに活かすことができます。私たちはこれからも、みなさんの「動く」を支えるプロ集団でありたい。そう考えます。

みなさんへのメッセージ

ヴィゴラスなどで、選手やスタッフを見かけたら、ぜひ気軽に声をかけてください。それが私たちにとっては何よりの励みになります！





医療法人 はぁとふる
黒岡 千泰
（しまだ病院 Snow Team セクレタリー）

感謝を忘れない

通常業務に支障をきたすことなく、国内試合や海外遠征に誰を派遣するか？といったスケジュール管理などをしています。チームの空気づくりもセクレタリーの大きな役目です。その際、大切にしているのは「感謝」です。患者さんやご利用者の理解と協力があるから遠征にも帯同できることに感謝。世界トップレベルの技と知識を修得できる機会に感謝。私は、この病院に勤めることが憧れでした。いまこうして、世界と戦うアスリートたちの力になれているとしたなら、感謝の気持ちでいっぱいです。

みなさんへのメッセージ

ここで得たものを、みなさんの治療やトレーニングに活かしたい。それが、メンバー全員の思いです。これからも応援よろしくお願いします。

Eudynamics ヴィゴラス トレーナー
内海 沙織
（しまだ病院 Snow Team トレーナー）

一人では無理でも、全員ならできる！

年に数回、代表選手や強化選手が運動器ケア しまだ病院に集まって行っているメディカルチェックのサポートを担当しています。また、女性アスリートが抱える身体の問題に関する調査や、その啓発活動なども行っています。選手に接する機会が限られているため、私だけでは選手の状態を細かに把握することはできません。一方、全体で見れば、選手に関わるスタッフは大勢います。全員で情報を共有すれば、選手一人ひとりの目標や事情に応じたオリジナルトレーニングメニューも開発できるんですよ！

みなさんへのメッセージ

選手用に開発したメニューは、アレンジしてヴィゴラスの会員さまのトレーニングにも活用しています。ぜひ一度試してみてください。

運動器ケア しまだ病院 理学療法士
瀬戸口 淳
（モーグル日本代表チーム SNOW JAPAN トレーナー）

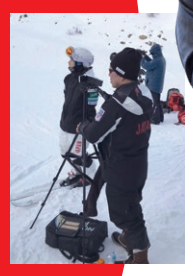
その場・その時の最善を探す

モーグルは、自然が相手のスポーツです。同じゲレンデでも、その日の気温、湿度、日差しなどによって1時間単位で固いバーンになったりシャバ雪になったり。理想とするターンやエアを追求するなら、そうした雪の変化に合わせて、腰、膝、足首などをチューニングせねばなりません。大切なのは「その場・その時の最善」を判断・選択できること。それは、患者さんとの関係も同じです。どうすれば最短で治療効果を最大化できるのか？を患者さんと二人三脚でとことん考える！そう心がけています。

みなさんへのメッセージ

患者さんとの信頼関係がなければ、「その場・その時の最善」は見つかりません。トレーニングしながら、まずはいっぱいお話ししましょう！

写真：黒田浩二氏撮影



Eudynamics ヴィゴラス
松田 颯
（モーグル日本代表チーム SNOW JAPAN 選手）

ワールドカップの表彰台へ！

10月から3月までは世界を転戦、残り半年はヴィゴラスで働いています。今シーズンは、技術不足によるケガが度々ありましたが、なんとかオリンピック出場を果たすことができました。次は出場で一喜一憂するのではなく、目標はズバリ、メダル獲得！そのステップとして来シーズンはワールドカップ表彰台をめざします。日常的に理学療法士に診てもらえる環境が整っています。ヴィゴラスのトレーナーや理学療法士の先輩たちと一緒に、パフォーマンスを高めるトレーニングを考案していきます！

みなさんへのメッセージ

ヴィゴラスは、アスリートにとっても魅力的な施設です。健康的で豊かな人生を送るためにも、ここで一緒にしっかり運動しましょう。

Eudynamics ヴィゴラス トレーナー
西村 貴宏
（モーグル日本代表チーム SNOW JAPAN トレーナー）

まずは、基礎トレーニング力を！

将来のオリンピック代表が期待される「Development　Team」の選手のフィジカル強化をサポートしています。指導でまずチェックするのは、「選手の基礎トレーニング力」です。意外にも、スクワットやジャンプなどの基本動作が正しく行えない選手が多いのです。基礎がなければ、競技特性に応じたトレーニングの効果も期待できません。代表チームではターン、エア、トレーニングなど、専門のコーチが複数います。選手が混乱しないよう全員で目標を共有し、それぞれが正しく指導することも大切です。

みなさんへのメッセージ

選手と同様に、ご利用者のトレーニングにも私たちとのチームワークが大切です！心をひとつにして一緒に頑張りましょう！

運動器ケア しまだ病院 理学療法士
佐藤 達宗
（しまだ病院 Snow Team トレーナー）

ケガや故障のない状態を知る

「Development Team」の選手の身体のケアやトレーニング指導などのコンディショニングを担当しています。ケガや故障を治すことが、理学療法士の仕事ですが、そのためには実は、「ケガや故障のない状態を知っておくこと」が大切です。遠征や合宿時には、練習の様子はもちろん、動作の習慣や食生活なども観察しています。また何気ない会話の中にも、選手が感じている身体の不安を探り出すヒントは詰まっています。気軽に気さくに会話できるよう、そうして厚い信頼関係が築けるように心がけています。

みなさんへのメッセージ

ヴィゴラスには、松田颯選手以外にもアスリートが所属しています。練習に向き合う姿勢や情熱は、刺激になります。一度覗いてみてください。

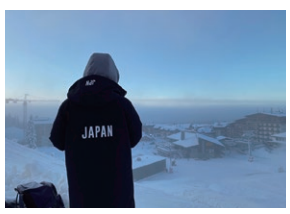
運動器ケア しまだ病院 理学療法士
兵頭 惇
（モーグル日本代表チーム SNOW JAPAN トレーナー）

言葉にならない声を聴く

2019年2月の秋田・田沢湖ワールドカップ以降、日本代表チームのトレーナーとして、海外遠征や国内合宿へ帯同し、選手のトレーニングやケア・コンディショニングを担当しています。そのなかで大切にしているのは、選手が言葉には表さない「内なる気持ちを聴く」こと。選手には目標があり、そのためには多少の無理もします。いま負荷をかけてもよいのか？それだと選手生命に影響しまうのか？理学療法士として客観的に把握・評価したことを丁寧に伝え、今後の方針を共有するように心がけています。

みなさんへのメッセージ

患者さんやご利用者との関係も同じです。この経験から得た知識や技術をもとに、より良いケアや運動指導を行えるよう精進します！



TASH しまだ病院 Snow Team